

基礎数学 I

1

実数 c_n , $n = 0, 1, \dots$, に対し, $x = 0$ を中心とするべき級数

$$f(x) = \sum_{n=0}^{\infty} c_n x^n$$

を考える. $0 < R_f < \infty$ なる R_f に対し, $|x| < R_f$ ならばこの級数は絶対収束し, $|x| > R_f$ ならば収束しないとする. 同様に, べき級数

$$g(x) = \sum_{n=1}^{\infty} n c_n x^{n-1}$$

は, $0 < R_g < \infty$ なる R_g に対し, $|x| < R_g$ ならばこの級数は絶対収束し, $|x| > R_g$ ならば収束しないとする. 以下の問いに答えよ.

(i) $|x| < R_g$ なる任意の x においてべき級数 $g(x)$ が絶対収束することを用いて

$$\sum_{n=0}^{\infty} |c_n| |x|^n < \infty$$

が成り立つことを示せ.

(ii) $0 < R_0 < R_f$ なる任意の正数 R_0 に対して, 正数 M_0 を適当に選べば, 任意の n について $|c_n| R_0^n \leq M_0$ とできる. このとき, $|x| < R_0$ なる任意の x において

$$\sum_{n=1}^{\infty} n |c_n| |x|^{n-1} < \infty$$

が成り立つことを示せ. ただし, $\sum_{n=1}^{\infty} n a^{n-1} = \frac{1}{(1-a)^2}$, ($|a| < 1$) を用いてよい.

(iii) 上で示したことを用いて, べき級数 $f(x)$ と $g(x)$ について

$$R_f = R_g$$

が成り立つことを示せ.